

公孫樹 (いちょう) 9月号

～学べ 鍛えろ 夢を持って～

2学期始業式講話から『わたしのいもうと』

わたしのいもうと 松谷みよ子

この子は、わたしのいもうと。むこうをむいたまま、ふりむいてくれないのです。いもうとのはなし、書いてください。
いまから七年まえ、わたしたちは、この町に引っこしてきました。
トラックにのせてもらって、ふざけたり、はしゃいだり、アイスクャンディをなめたりしながら、いもうとは小学校四年生でした。
けれど、てんこうした学校で、あのおそろしいいじめがはじまりました。
ことばがおかしいとわらわれ、とびばこができないといじめられ、くらすのはじさらしとのしられ。くさい、ぶたといわれ。
ちっともきたない子じゃないのに
いもうとがきゅうしよくをくばると、うけとってくれないというのです・・・。
とうとうだれひとり、くちをきいてくれなくなりました。
ひと月たち、ふた月たち、えんそくにいったときも、いもうとはひとりぼっちでした。
やがていもうとは、学校へいかなくなりました。

中略

でも、やっぱりふりむいてはくれないのです。口をきいてくれないのです。
かあさんはなきながら、となりのへやで、つるをおります。
つるをおっていると、あの子のことがわかるようなきがするの・・・。
ああ、わたしの家はつるの家。わたしのはらをおきます。
くさはらにすわると、いつのまにかわたしもつるをおっているのです。
ある日、いもうとはひっそりとしにました。つるをてのひらにすくって、花といっしょにいれました。
いもうとのはなしはこれだけです。
わたしを、いじめたひとたちは、もう わたしをわすれてしまったでしょうね。
あそびたかったのに、べんきょうしたかったのに。



2学期始業式で松谷みよ子氏の「わたしのいもうと」を朗読しました。この話は、いじめにより自殺したある少女の姉から松谷さんへ届いた手紙をもとに書き上げたものだそうです。
この夏もいじめが原因と思われる中学生の自殺が起きました。いじめは、ときには相手を死に追いやる恐ろしいものです。もし、皆さんの中で心が折れそうになったり、どうしてもならない不安を抱えている人がいるとしたら、どうか誰かに助けを求めてください。先生でも、ご両親でも、友達でも誰でもいいです。声を上げてください。決して自分の命を絶ってはいけません。いじめはあってはならないことです。そして万が一の時には、いじめに対して立ち向かっていける学校を、皆でつくっていきましょう。

お世話になりました。資源回収・PTA親子除草

8月前半の資源回収、8月19日のPTA親子除草では大変にお世話になりました。お蔭様で学校がすっかりきれいになりました。
なお、資源回収の収益金は以下のとおりです。生徒の教育活動資金として有効に活用させていただきます。なお、第2回の資源回収は12月16日(土)に行いますので、よろしくお願いいたします。



【収益金合計】93,110円
内訳：新聞紙 26,280円 段ボール 37,350円 雑誌 11,050円 アルミ 4,800円
その他 13,630円

真夏の夜の祭典～浮き城まつり～

7月30日(日)第24回市民祭行田浮き城まつりが行われました。
行田中学校は生徒・保護者・職員総勢160名の「行中連」を組み、「だんべ踊り」に参加しました。踊りの中にジャンプを交えて踊る「行中だんべ」で45分間全力で踊りきりました。その結果、「だんべ踊り準大賞」を受賞しました。沿道の人たちからも「行中がんばれ!」と温かい声援を送っていただき、真夏の夜の祭典を大いに楽しむことができました。



*松谷みよ子事務所の著作物使用許可を得て、原文のまま一部掲載いたしました。